

カミツキガメ

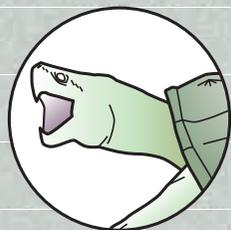
どこから来たの？

北アメリカ及び中央アメリカが原産です。
1960年代からペットとしてアメリカ合衆国から輸入されてきました。
近年、幼体が大量に輸入され、安く販売されていました。
しかし、逃げたり放されたりして野外で発見され、問題になっています。

どんなものを食べるの？

雑食性。肉食傾向が強く、主に魚類、両生類、小型のカメ類、貝類、水生昆虫等を食べます。

どんな動物？



背甲長（甲らの長さ）約50cm、体重約35kgまで成長する大型のカメです。
川や沼などにすみ、目だけ出して泥にもぐっていることが多いと言われています。
普通、4月から7月に、20～40個の卵を産みます。

危険を感じると首をすばやくのばしてかみつこうとする。

体色は黒っぽいものから濃緑色、茶色など個体差がある

背甲は丸形が楕円形
3条のやや発達した隆条（キール）がある

頭部は大きい

甲らの後縁はのこぎり状になっている

上あごの先は尖るかほぼ平坦

四肢は頑丈で爪は鋭い

尾は長く、背側に1～3列の、のこぎり状の大型のうろこがある

カミツキガメと間違いやすい動物

同じカミツキガメ科に属するワニガメと似ています。
大きさや体色は個体によって様々ですが、ワニガメの方が頭部が大きく、甲板が山状に盛り上がり、全体的にゴツゴツしています。



カミツキガメ 最大背甲長 50cm



ワニガメ 最大背甲長 80cm

カミツキガメがいたらどうなるの？

本来夜行性で深い水場を好むため、人が水中で危害を受けることは少ないのですが、陸にいる場合は、攻撃的で、首を伸ばして飛びかかるようにしてかみついてくることがあります。
大型個体にかまれたり引っかかれたりすると、大けがをするおそれがあります。

埼玉県内で見つかったいるの？

平成18年に県東部地域で初めて発見されました。
発見場所は、水路や水辺の周辺などです。

もしも

カミツキガメを見つけたら……

むやみに手を出すことは大変危険です。
見つけたら**地元の警察署、市町村または県環境管理事務所**へ連絡してください。